

今月のプレゼント



医食同源～大浦の恵みを食べて元気に～ 抽選で
農村レストランふるるの
ペアランチ券 **3組**

「しんどぶじ身土不二」をモットーに、食を通した「まち」と「むら」の懸け橋を目指している舞鶴ふるるファーム。

農村レストランでは、同ファームや地元農家が作った野菜や、四季折々の地元の海産物をたっぷり使った約80～100種類もの自然食メニューが用意され、窓際の席からは冠島が浮かぶ美しい若狭湾を望むことができます。心も体もワクワクするランチを、ぜひお楽しみください。

【提供】舞鶴ふるるファーム（瀬崎 60 番地、☎68・0233）

あなたの意見や感想を
聞かせてください

アンケートに答えて
プレゼントに応募しよう

広報まいづるアンケート

1. 「広報まいづる」の内容の満足度は、次のうちどれですか？
①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満
2. 広報まいづる 10月号で興味・関心を持った記事は何ですか？
3. 舞鶴のまち並みで歴史を感じる所はどこですか？

応募方法

「はがき（〒625-8555（住所不要）舞鶴市役所広報広聴課あて）」か「市ホームページ応募フォーム（右下コードからアクセス可）」で①アンケートの回答 ②住所 ③氏名（ふりがな）④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙や市政への意見などを記入し、10月25日（火）（消印有効）までに広報広聴課へ。

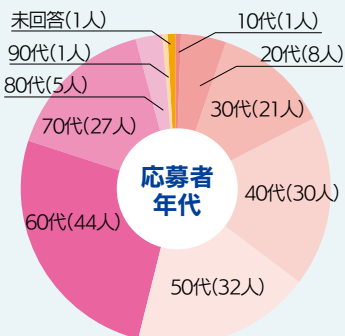
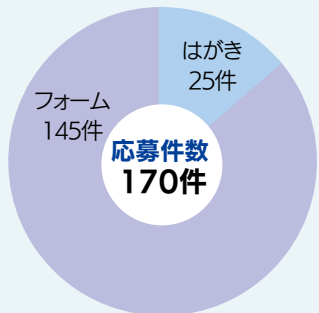
※応募は1人1通。当選者は全てのアンケートに回答があった人の中から抽選で決定。発表は発送をもって代えさせていただきます

※いただいた感想や意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります



広報まいづる
9月号
読者から
寄せられた **声**

9月11日時点



9月号の人気記事

- 1位…特集 公共交通を考える(67票)
- 2位…認知症になっても…ずっと一緒(40票)
- 3位…舞鶴で働こう!(13票)

公共交通について特集した記事が1位を獲得しました。「公共交通は舞鶴の課題であると感じていたため、その記事が特集されており興味が湧いた」「通勤でJRを利用している。市外に通学する学生にはなくてはならない存在」「高齢化社会で自家用車を運転している高齢者が多いことを実感している。自分の親のことを考えても、年齢的にいつまで車を運転できるかなどを考えている」といったコメントがありました。

2位の認知症の記事には「一度、認知症サポーター養成講座を受けたことがある。また機会があれば、改めて受けてみたい」「公民館などを利用し、認知症の人や高齢者などが集う場を、ボランティアの人たちで見守れる体制ができればよい」「母親と二人暮らしをしているので、他人ごとではないと思った」などのコメントがありました。

9月号広報アンケート

● 公共交通を利用していますか？

また、どうすればより利用しようと思いますか？

利用していないという意見が多かったです。「今は利用していないが近々免許の返納を考えている。市内公共交通のことが分かり参考になった。こういった情報をもっと掲載してほしい」「もっと本数が増えれば利用回数が増える」「運賃をもう少し安くしてほしい」「バスの停留所を増やしてほしい」「小銭を使わなくよいキャッシュレスの支払い方法を導入してほしい」「土日は乗り放題など、お得なキャンペーンがあるとよい」などの意見がありました。

《広報広聴課》